

榛葉鉄工所

榛葉鉄工所（静岡県掛川市、榛葉書博社長、0537・27・2100）がフレーム部分を製作した自転車が、英ロンドンの「ジャパン・ハウス」に展示された。主方の2輪車用マフラーのパイプ加工技術を応用した。「美しさと乗り降りのしやすさを兼ね備えたデザインと、それを実現した日本の先進技術を評価してもらえた」（榛葉社長）としている。

ジャパン・ハウスは日本の文化や技術の発信拠

日本の自転車 英でアピール

マフラー加工技術応用



点として外務省が英国、米国、ブラジルに設立。ロンドンには自転車用ハイウエーが整備されるなど、自転車人気が高い。榛葉鉄工所はフレームを部分的に二重管構造とし、強度とデザイン性の両立に貢献した。同社は2輪車用マフラーの加工

技術を応用した事業の多角化を進めており、自転車もこの一環。自転車をデザイン・開発したポプロモビル（神奈川県鎌倉市）の山田敦彦社長は今回の展示を受け「ブランド力が高まる。今後、世界のハイエンド自転車生産の中心地である台湾市場に参入したい」と意気込む。（浜松）

場へ参入したい」と意気込む。（浜松）

▲ 2輪車用マフラー技術を用いた自転車が展示された